

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立南小岩小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	55.0%	45.0%
令和7年度の目標	50.0%	40.0%
令和6年度の結果	42.6%	26.2%
令和5年度の結果	44.6%	39.8%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	29.8%	30.8%
第5学年	35.8%	38.8%
第4学年	38.4%	50.8%
第3学年	37.8%	39.4%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 算数科の授業において、「江戸川区算数スタンダード」を活用し、問題把握→自力解決→学び合い→振り返りを意識した授業作りを実践する。 ICT機器を1日に数時間以上使用した授業展開を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 週2回以上「ドリルパーク」を活用した学習を行い、漢字と計算技能の定着を図る。 読書科の授業や週2回の朝読書等を通して、本で学ぶ児童を育てる。（調べる学習コンクールには、高学年が出品） 全校（1年生は2学期から）算数科において、習熟度別指導を取り入れ、きめ細かな指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年、週1回日記を書く活動を取り入れる。 中学年以上は、自主学習に取り組みさせる。 4年生以上は、「よむYOMUワークシート」週1回程度取り組む。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのユニバーサルデザイン」を意識した授業づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「EDOスク」において、担当と連携を図りながら、児童一人ひとりのつまずきを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字ドリルや計算ドリル等を実施する際、毎日シールをためる取組を行う。
成果指標	<p>「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」肯定的な回答の割合 70%以上になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成者70%以上になっているか 	<ul style="list-style-type: none"> Study weekの全児童の目標達成率が80%以上になっているか。